

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 22 日作成

事務事業名	巨摩高校定時制教育振興会参画事業 □ 実施計画事業			所属部局	教育委員会	単位番号	12024			
				所属課室	教育総務課	課長名	新津 岳			
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	所属担当	教育政策推進担当	担当者名	依田 明子			
				会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	23	学校教育の充実		01	一般	10	01	02	020	76
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		事業区分						
事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠							
	□ 期間限定複数年度 (~ 年度)									
事務事業の概要	事業の内容: 期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 巨摩高校定時制教育振興会は生徒の部活動、国際交流事業や校外活動などの支援を目的としており、地域自治体、や雇用主で組織している。同振興会会长は、南アルプス市長			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) その他負担金 420 計 420						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	巨摩高校定時制教育振興会への負担金の支出。
24年度活動実績	巨摩高校定時制教育振興会への負担金の支出。
25年度活動予定	巨摩高校定時制教育振興会への負担金の支出。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内在住もしくは在勤の巨摩高校定時制生徒
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	市内在住の巨摩高校定時制生徒の学習環境が向上
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	未来を担う人材の育成

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア: 負担金の数	個	
イ:		
ウ:		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア: 市内在住の巨摩高校定時制生徒	人	
イ:		
ウ:		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア: 市内在住巨摩高校定時制生徒の満足度	%	
イ:		
ウ:		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア: 青少年教育に対する市民満足度	%	
イ:		

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間	事業費	国庫支出金 千円							
トータル	財源内訳	県支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他 千円							
	トータル	一般財源 千円	420	420	420	420	420	420	0
	事業費計 (A)	千円	420	420	420	420	420	420	0
人件費	正規職員従事人員 時間	人 時間	1	1	1	1	1	1	
人件費	延べ業務時間		1	1	1	1	1	1	
	人件費計 (B)	千円	4	4	4	4	4	4	0
	(A)+(B)	千円	424	424	424	424	424	424	0
	活動指標	ア: 個	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		イ:							
		ウ:							
	対象指標	ア: 人	32.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
		イ:							
		ウ:							
	成果指標	ア: %							
		イ:							
		ウ:							
	上位成果指標	ア: %	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	
		イ:							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前、小笠原学区の町村及び富士川町が構成町村として同窓会と組織
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	経済状況の悪化とともに雇用が不安定となっており、勤労高校生の数の変動が大きい
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	なし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	巨摩高、白根高、増穂高並びに富士川町との協議を行い23年度については1割減となっている。この助成額算定期準は、平成25年度予算の編成時まで適用し、次回は生徒数の推移を見ながら均等割と生徒割(例:一人当たり1,000円ずつ)など明確な基準とするよう研究を行うこととした。また巨摩高校定時制への助成は別途定めた一定中北地区教育委員会連合会、教育長部会にて検討した協議事項を事務局に照会した。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	巨摩高校定時制教育振興会参画事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 県立高校定時制の支援組織であり、富士川町と本市の他、生徒の雇用先、同窓会等により構成されている。市の政策体系との直接的な結びつきはないが、幅広い意味で青少年の教育という見地では結びついている
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 事務費の内容に不明確な点が多く、市が負担すべきか疑問がある項目が含まれている。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 本市から通学している生徒数が減少している。
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 振興会への負担金交付事業であるため
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 構成市町が2団体であるため勝手に休廃止はできない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 繰越金が多額であることから見直しが可能。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の事務である。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内在住の巨摩校定時制生徒に対する支援に直接つながっているとは言えないため、見直しの余地がある。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	中北教育委員会連合会・教育長部会で予算の適正執行や、業務の効率化や、事業費の支出項目の見直し・削減を要望し、回答を得た。今後、本市として負担金の削減または終了を視野に入れて要望していく。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																				
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	コスト水準				削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
コスト水準																					
	削減	維持	増加																		
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
低下	<input type="checkbox"/>																				
(2) 改革改善案について	※ 廃止・休止の場合は記入不要																				
①廃止も含めた抜本的な改革を行なうために協議を行う。 ② ③	(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																				
①負担金請求団体の理解 ② ③	(5) 事務事業優先度評価結果																				
	成果優先度評価結果	⑫																			
	コスト削減優先度評価結果	⑯																			